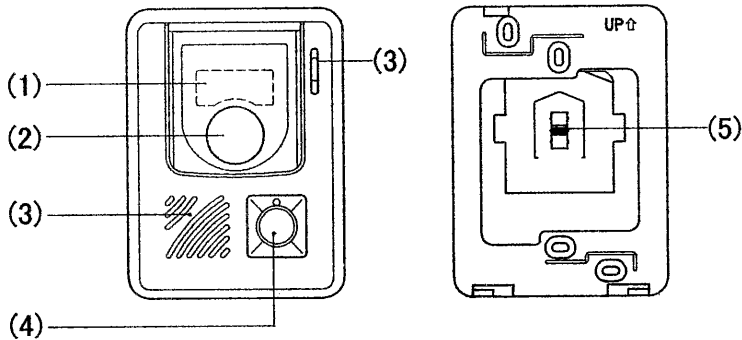
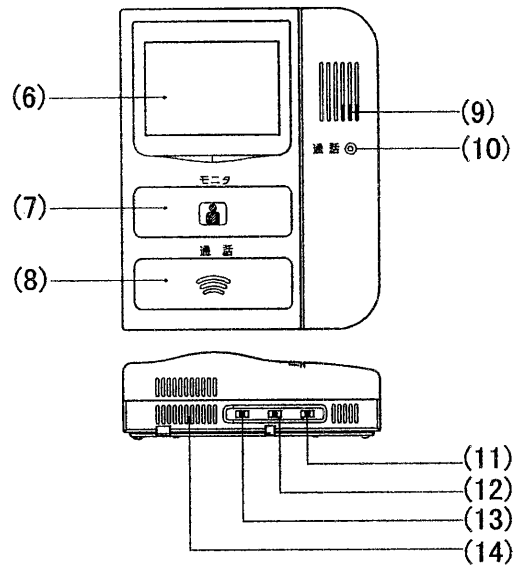
TOSHIBA 東芝インターホン取扱説明書

対象機種		
	親子セット	HTV5001MD（HTV5001MとHTV5001Dのセット）
	親　　機	HTV5001M
	子　　機	HTV5001D

このたびは東芝インターホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのインターホンを正しくご使用していただくために、ご使用の前に「取扱説明書」と「安全上のご注意」および「製品に貼付してある表示」をよくお読みください。　なお、お読みになったあとは必ず保管してください。

各部のなまえとはたらき

子機HTV5001D

親機HTV5001M

（1）赤外発光ダイオード内蔵部
カメラ部が動作すると、常時点灯します。

（2）カメラ部
被写体の明るさに応じて感度を自動的に調整し、映像を映し出します。

（3）スピーカ／マイク

（4）呼出ボタン
このボタンを押すと親機から呼出音（チャイム音）が鳴ります。

（5）カメラ角度調節つまみ
子機のカメラ角度を上方向、または、下方向に調節でき、カメラの撮影範囲を変えることができます。

（6）モニタ画面（CRT）
子機でキャッチした映像を映し出します。

（7）モニタボタン
子機の様子を室内から見たいとき、このボタンを押すと約60秒間映ります。

（8）通話ボタン
通話を開始す時にこのボタンを押します。

（9）マイク

（10）通話表示
親機から子機への通話状態の時にランプが点灯します。

（11）呼出音量調節つまみ
呼出音（チャイム音）の音量を大中小３段階に調節できます。

（12）コントラスト調節つまみ
モニタ画面の濃淡を３段階に調節できます。

（13）明るさ調節つまみ
モニタ画面の明るさを３段階に調節できます。

（14）スピーカ

工事店様へ	工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

<生産完了 2008年01月16日>

特にご注意を

●親機／子機、親機／増設親機間の配線に雷や他の機器からの誘導電圧が混入し、本製品の破壊・誤動作・雑音混入・画質劣化が発生する場合があります。屋外架空配線やＡＣ１００Ｖ等の電力線及び電話機、その他機器の電線との並行配線はおやめください。

●電灯線式のチャイムやインターホンの配線はＡＣ１００Ｖ等の高電圧がかかっている場合がある為、そのまま使用する事はできません。お取り付けになった電気工事店にご相談ください。誤って、親機／子機間、親機／増設親機間、親機／呼出増設用スピーカ間の通信線にＡＣ１００Ｖ等の電圧が加わると親機、子機共に修理不可能な損傷が発生します。

※電灯線式のチャイムやインターホンとは、今までに一度も電池交換をしたことがない機器等です。特に電源直結式の機器は電源コードやプラグがないので電池式の機器と間違う危険があります。くわしくは販売店や電気工事店におたずねください。

●本体は分解しないでください。内部に高電圧回路部があり、非常に危険です。電源をはずしても、内部の電気回路に高電圧が残留している事がありますので、絶対に分解しないでください。

●電源は必ず家庭用のＡＣ１００Ｖのコンセント、または屋内配線に接続してください。その他の動力用やインバータ式などの電源に接続しますと、破壊・雑音混入・画像乱れが発生する事があります。

●本体を落下させないでください。モニタ等にガラスを使用した部品があり割れたり、その他回路不良が発生する事があります。この場合には直ちに電源プラグを抜き、販売店や電気工事店にご相談ください。（電源が直結されている場合にはその屋内配線回路のブレーカをＯＦＦにしてください。）

●本製品は当社、他のテレビドアホンの親機、子機と互換性はありません。

●放送局などの送信アンテナの近くでは、電波が混入し映像が乱れたり、音声が混入する場合があります。

●電子レンジや携帯電話など、強い電磁波、電波が出る近くで使用すると、映像が乱れる場合があります。このような機器からは、できるだけ離して設置してください。

■親機は次の場所には取り付けないでください。

●電気・ガス・石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。　●直射日光のあたる場所。

●製氷倉庫など０℃以下になる場所。　●風呂場、脱衣所、厨房など湿気の高い場所。　●ガス・ほこり・油煙が特に多い場所。

●水や薬品がかかるおそれがある場所。

■子機を取り付ける際、取付面との防水性を確保する為、子機の上・側面の取付枠と取付面をコーキングしてください。

尚、子機の地面側（下面側）はコーキングしないでください。

内部に入った水を外部に流出させるための水抜き穴がふさがり故障の原因になります。また、子機は鉛直な取付面に取り付けてください。傾斜した面に取り付けると排水性能が悪くなり故障の原因になります。

■子機は防雨形（ＪＩＳ　Ｃ　０９２０　保護等級３）です。直接ホースなどで水をかけないでください。

直接水をかけますと故障の原因になります。

知っておいていただきたいこと

●呼出ボタンやモニタボタンを押されて映像が出るとき、カメラの自動感度調整が働くまで約５秒の時間がかかります。この期間中に、呼出ボタンが押されると呼出音が鳴りません。この場合は、約５秒経過後にもう一度操作してください。

●本製品は家庭用インターホンとして設計されていますので、監視カメラ等の様に連続使用する事はできません。

●子機の周囲の気温差によって子機レンズ部が結露し、親機の映りが悪くなる事があります。結露がなくなれば回復します。

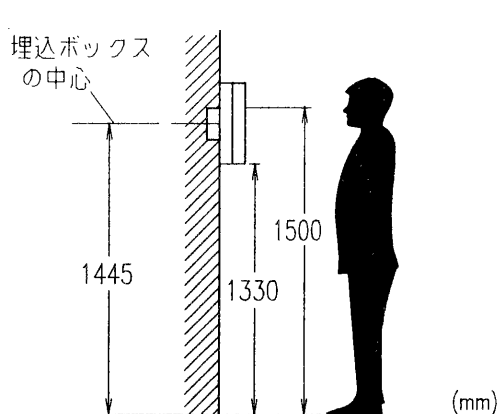
●子機に内蔵している照明用赤外発光ダイオードの光の照射範囲は、カメラの撮像範囲よりも狭いため、周囲が暗くなると昼間よりも映る範囲が狭くなります。

●親機は、子機から５ｍ以上離して設置してください。また、反響の多い場所への設置は避けてください。通話不良の原因になります。

●親機を２台接続している場合、他方の親機が通話中にもう一方の親機は通話できません。他方の親機が通話を終了してから、再度操作をやり直してください。（モニタ操作は使用できます。）

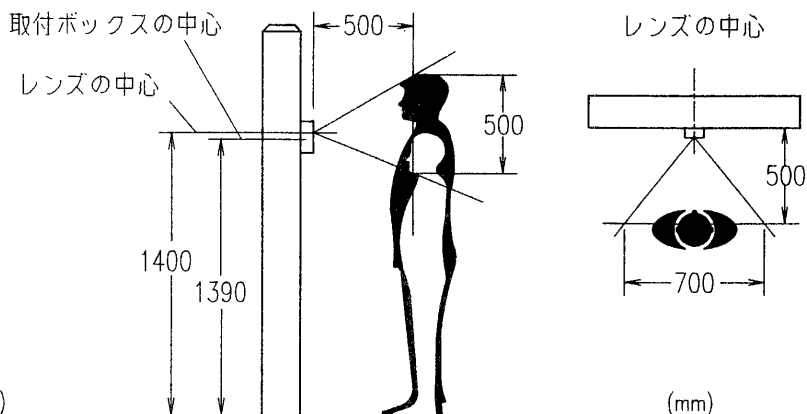
取り付けかた

■親機の取り付け位置について

親機の設置高さは、モニタ部の中心が目の高さになる約１５００mmが標準的です。この場合、取付金具の中心（スイッチボックスの中心）が床面から１４４５mm高さとなります。

■子機の取り付け位置について

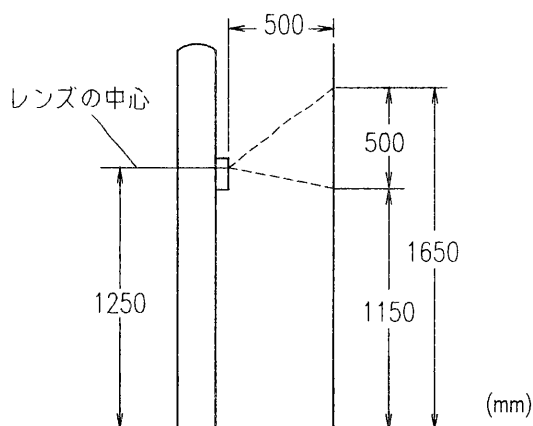
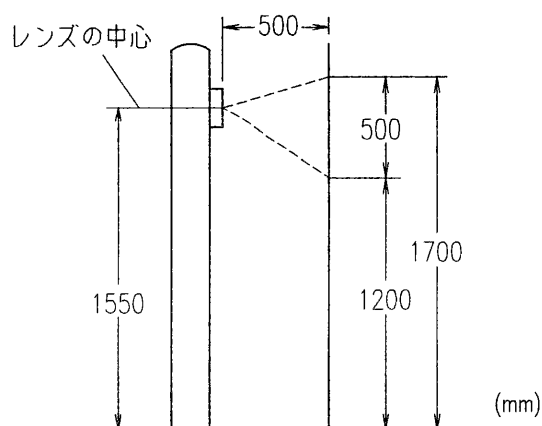
子機の設置高さは、レンズ部が地面から約１４００mmが標準的です。この場合、取付枠の中心（スイッチボックスの中心）が地面から１３９０mmの高さとなります。

●標準的な取り付け高さ

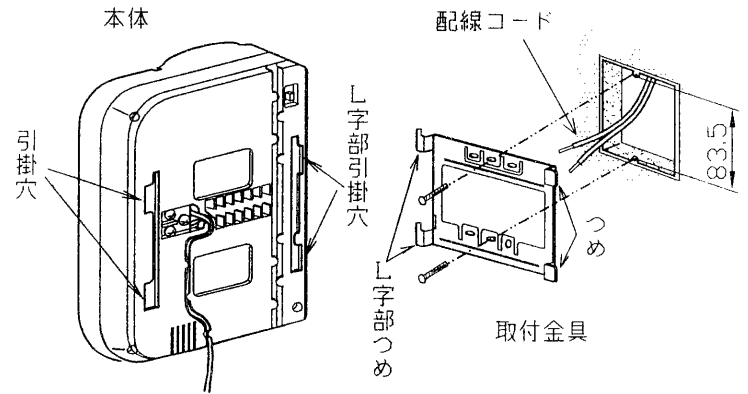
●カメラに映る範囲及び標準的な取り付け高さ

■子機のカメラ角度調節について

子機背面のカメラ角度調節つまみを上方向、または、下方向にスライドして調節します。

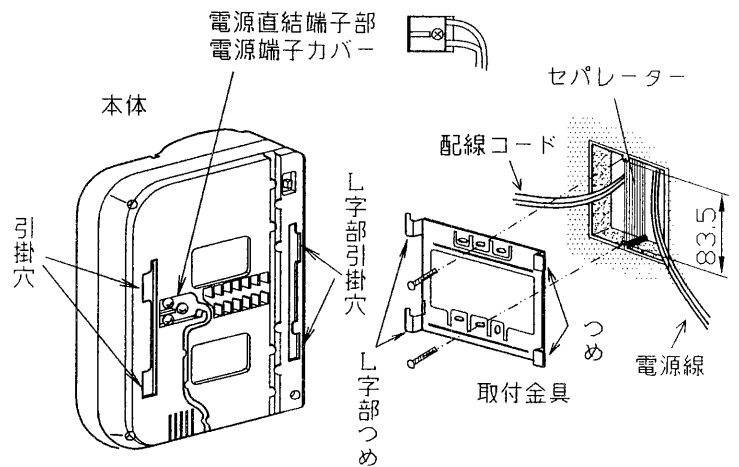
下記の寸法を参考にして、カメラ角度を調節してください。

●カメラ角度を上方向へ移動した場合の カメラに映る範囲及び取り付け高さ

●カメラ角度を下方向へ移動した場合の カメラに映る範囲及び取り付け高さ

■子機の取り付け角度を左右方向に変更する場合は別売の左右傾斜台（ＨＴＶ８２８）をご使用ください。
右方向または、左方向へ約３０°傾けて取り付けることができます。

■親機の取り付けかた

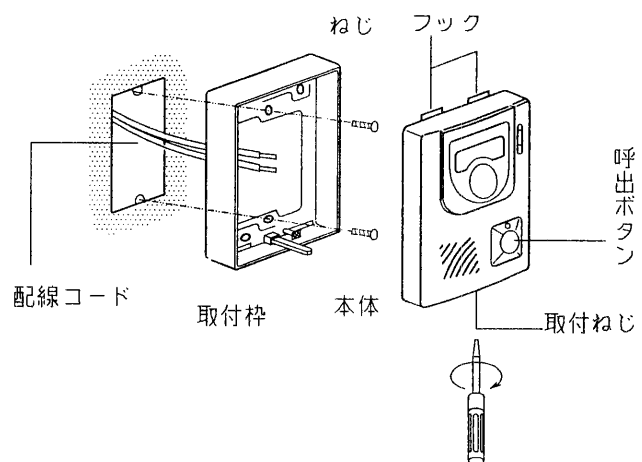
1．本体裏面に付いている取付金具をはずします。
2．取付金具を付属のねじでＪＩＳ１個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3．右図を参考にして、取付金具のＬ字部つめを本体裏面の引っかけ穴に取り付けます。
4．本体を取付金具に引っかけた状態で配線コードを本体表示している端子説明を参考にして、端子に結線します。
5．本体を取付金具側に倒しながら取付金具に取り付けます。
6．子機を配線した後、電源プラグをコンセントに差込みます。

■電源線を親機に直結するとき

（この工事は電気工事士の資格が必要です。資格を持たない人が工事をする事は，法律で禁止されています。）

●電源線（ＡＣ１００Ｖ）と配線コードを同一ボックスに入線する場合、スイッチボックスはセパレータ付きを必ず使用し、電源線と配線コードが混触しないようにしてください。
●電源線は親機本体裏面にある電源端子カバーを取り外し、電源コードを取り外してから電源端子に結線してください。最後に必ず電源端子カバーを元の状態に取り付けてください。

■電源線を結線する場合は以下内容にご注意ください。（火災、感電の原因となります。）

●電源線はΦ１．０～Φ２．０mm単芯銅線を使用してください。
●電源を入れたまま工事をしないでください。
●電源端子以外の端子に電源線を結線しないでください。

■子機の取り付けかた

1．取付ねじをゆるめ、本体から取付枠をはずします。
2．取付枠を付属のねじでＪＩＳ１個用スイッチボックス、または壁面に取り付けます。
3．配線コードを端子に結線します。
4．本体上部のフックを取付枠に合わせてからはめ込み、取付ねじで固定します。

●松下電工製ポスト灯に取り付けることはできません。

接続のしかた

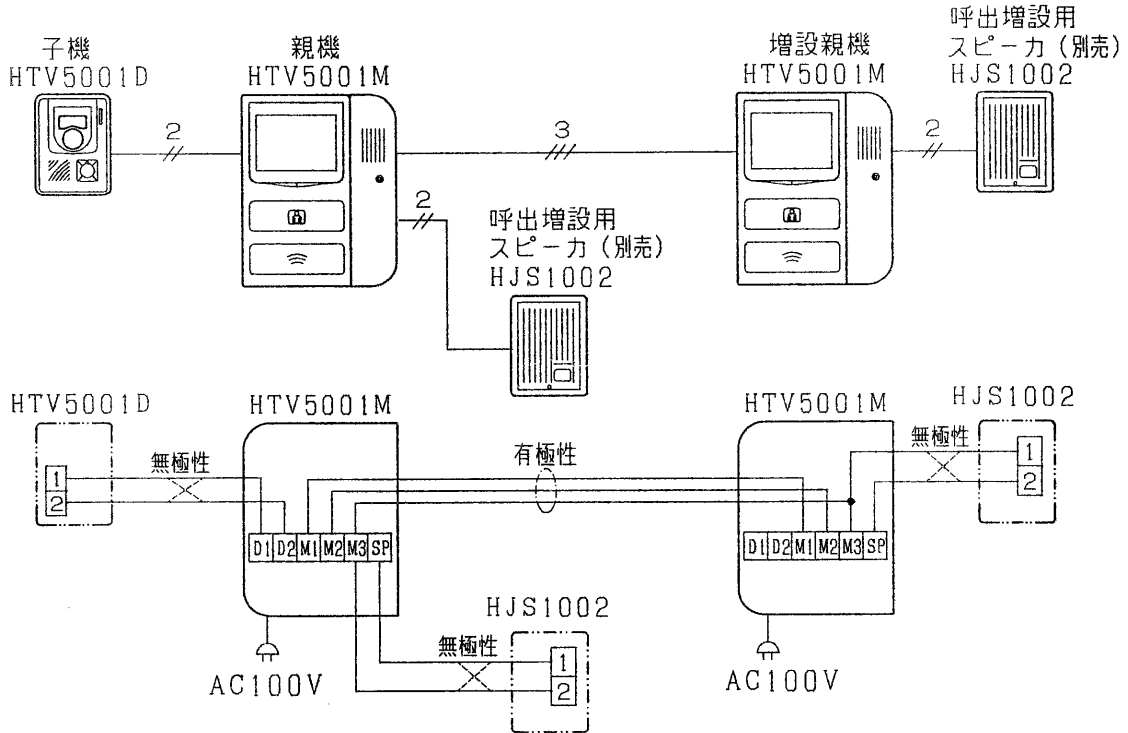
●呼出増設用スピーカ（ＨＪＳ１００２：別売）を使用しますと子機から呼ばれたときに呼出増設用スピーカからも呼出音が鳴ります。（通話はできません。）

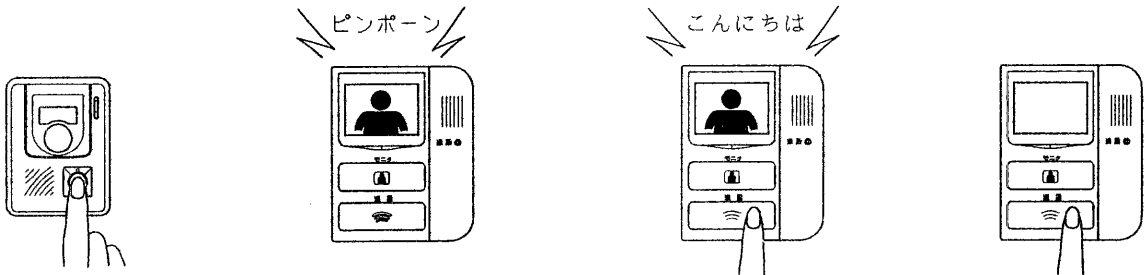
●親機／子機、親機／増設親機（ＨＴＶ５００１Ｍ：別売）間の配線は、途中で他の種類のケーブルと接続、分岐、平行の２芯を１本ずつ引き離したりしますと、画像が乱れたり、画質が悪くなる場合があります。また、遊び線が（未使用線）がないように、つなぎ込んでください。

■最大接続例

●親機（ＨＴＶ５００１Ｍ）‥ ･･････････････････最大２台まで接続できます。（室内間の呼出・通話はできません。）

●子機（ＨＴＶ５００１Ｄ）･･････････････････････システムに１台まで接続できます。

●呼出増設用スピーカ（ＨＪＳ１００２：別売）････親機または増設親機に各１台まで接続できます。

使いかた

■子機から呼ばれたとき

子機の呼出ボタンを押します。

全ての親機から呼出音が鳴り、子機のカメラの映像が映ります。

通話ボタンを押し、通話します。

通話が終わりましたら、通話ボタンを再度押します。

＊このとき子機側でも呼出音が小さく聞こえ、呼出を確認できます。

＊呼出増設用スピーカを接続した場合、親機と同じ呼出音が鳴ります。

■相手の通話が終わらない内に話すと、声が途切れることがありますので、相手の話が終わってから話してください。

■親機から子機側への通話中に通話ランプが点灯します。ランプが点灯する距離に近づいて話してください。（親機から５０ｃｍ以内）

■親機・子機のまわりの音が大きいときは、通話が途切れる場合があります。

■子機周辺の様子を見たいとき（モニタ機能を使うとき）

モニタ画面が消灯状態でモニタボタンを押します。

モニタ画面に子機のカメラの映像が映ります。

再度、モニタボタンを押すと、映像が消えます。
操作しなければ、約６０秒で自動的に映像は消えます。

■モニタ画面のタイマー時間一覧

子機から呼ばれて通話ボタンを押していない場合。	約３０秒
外の様子を見るためにモニタボタンを押した場合。	約６０秒
通話ボタンを押して、通話する場合。 （約３分で映像・通話は切れます。通話を継続する場合は、再度通話ボタンを押してください。）	約　３分

修理サービス

アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センター（０１２０－１０４８－４１：フリーダイヤル）にお問い合わせください。
その際は製品の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

修理を依頼される前に、次の点についてもう一度お調べください。

■呼び出しも通話もできないとき

●親機の電源プラグが抜けていませんか。　●親機や子機の配線が端子からはずれていませんか。

■映像が不鮮明なとき

●親機の明るさ及びコントラスト調整がずれていませんか。　●カメラ前面、モニタ表面が汚れていませんか。

お手入れのしかた

●本体は、薄めた中性洗剤を浸したやわらかい布をよくしぼってからふいてください。
●本体をいためますので、シンナー、アルコールなどの薬品や化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
特にカメラ部やモニタ画面の透明樹脂部は薬品に侵されて曇りが発生する場合がありますのでご注意ください。

仕様

●通話方式　自動交互通話式
●電　　源　ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
●消費電力　待受時２．３Ｗ、最大時１７Ｗ
●呼出信号　電子チャイム音（音量３段切換）
●通達距離（最大）

線種	断面積(mm²)	0.3	0.5	0.75	1.25
	線径φ(mm)	0.65	0.8	1.0	1.2
距離	親機～子機, 親機～増設親機間　トータル距離(m)	50	80	100	120
	親機～呼出増設用スピーカ(m)	150	250	300	600

●使用温度範囲　親機　　０℃～＋４０℃
　　　　　　　　子機－１０℃～＋５０℃

●設置場所　親機　屋内用　　子機　屋内外兼用(防雨形)
●外観色調　親機　ホワイト　　子機　ブラウン
●画　　面　4インチ偏平ブラウン管
●カ メ ラ　固体映像素子
●寸　　法　親機　幅180×縦220×奥行60
　　　　　　子機　幅 95×縦127×奥行44.5
●質　　量　親機　約１６００ｇ　子機　約１５０ｇ
●付 属 品　取扱説明書（安全上のご注意）
　　　　　　親機取付金具（本体に付属）
　　　　　　小ねじ　Ｍ４×３０　　４本
　　　　　　木ねじ　φ３．８×２０　４本

東芝ライテック株式会社 住宅機器事業部　〒１１０－００１６ 東京都台東区台東１－３８－９ イトーピア清洲橋通りビル　ＴＥＬ（０３）５８１２－１２６２

（２３９０１）Ａ